



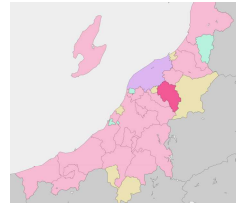
曹洞宗 源溪山長安寺 寺報〔N0.301〕

“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和8年7月④

住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆歌とお話に聞き入りました



檀信徒地方研修会が開催されました。護持会活動報告などのあと、新潟県五泉市永谷寺御住職吉原東玄老師の「ご縁に導かれて」と題したお話を拝聴しました。

ギター片手に般若心経を唱える僧侶としてテレビ出演も多々ある方です。当日も披露されました。

老師は仏教の基本となる「因縁生起」つまり“すべての事柄には原因があり、縁によって生じて起こる”という教えをお話になりました。

私たちは見えるところでも、見えないところでも様々なご縁がつながりあって生かされていることをわかりやすくお話しと歌で伝えられました。

般若心経のあとに歌われた玉置浩二『花咲く土手に』の冒頭部分を紹介します。

麦わらを 首にさげ
赤とんぼ 追いかけた土手に
野辺送りの長い列
さよなら じいちゃん
鐘の音が鳴る

花咲くふるさとに 星が落ちて
みんな 真白き百合を抱いて
春風の中を 歩く ……(以下略)

師は筋肉系僧侶として有名です。ご講演の最後には、求めに応じて上半身を披露。

冬は雪かき、今は草刈りと、広大な敷地を恨んで…などとも話されましたが、鍛え上げられた肉体もすばらしかったです。次のような師の言葉があります。



“自分”とは『自然』の『分身』

私たちは この大自然の一部

：

ただひたすら 作務をする

暇があつたら 境内の作務

自分を整えるのも大事だが

私たちの母体である

この自然を整えることが大事だ

当山の先代も、ご法事に出かけるとき30分前までは庭掃除をしていました。厳しい季節もありますが自然とともに生きることは誰にとっても大切な視点。反省しきりの私ですが、心して過ごしたいと思います。

◆一品運動協力お願い

第二宗務所関係も支援している「更生保護法人しらふじ」に善意の品を届けます。

“反省はひとりでも出来るが、
更生はひとりではできない”

日用品や食品、施設のバザーに出品できるものなどの提供をお願いします。秋彼岸後に届けます。

お盆にも専用の置き台を作っておきます。ご支援が更生を助けます。ご協力よろしくお願いします。